

# “映画をつくるHR企業”が、採用の誤解とミスマッチに終止符を打つ。

新卒の3割が入社1ヶ月で「辞めようかな」採用を“物語”で再設計する、オールインの挑戦。

## 構造的離職の現実

大卒者の3年以内離職率 **33.8%** (※)

離職理由「仕事が合わない」 **21.7%** (※)

厚生労働省が2025年10月に発表したデータによれば、大卒者の3年以内離職率は33.8%——いまだに「3人に1人が辞める」構造的課題は解消されていません。令和5年若年者雇用実態調査では離職理由の21.7%が「仕事が自分に合わない」と回答。求人情報だけでは伝えきれない「働くリアル」が、採用ミスマッチを生じさせ早期離職に直結していると言えます。

※出典：厚生労働省「新規学卒就職者の離職状況」（2025年10月）／厚生労働省「令和5年若年者雇用実態調査」

### 「なぜ“映画(ストーリー)”が、採用を救うのか」

オールイン株式会社(代表取締役：前田優一)は、2016年の創業以来、「HR×クリエイティブ」を旗印に500社超の採用支援を手がけてきたHR戦略コンサルティング会社です。その最大の特徴は、採用を「人生の1シーン」として捉え、求職者が自分ごと化できる“物語”として企業の魅力を再構築する点にあります。ゾンビ映画風の求人広告、ラップバトル形式の社風紹介動画など、「前代未聞の採用クリエイティブ」で業界の常識を覆してきました。そして2026年、同社はさらに一步を踏み出します。

短編映画『Sh\*t Job』の制作、クラウドファンディングによる国際展開、そして「1企業1映画」構想の本格始動一。



### なぜ、HR企業が映画をつくるのか。

それは、「スペック」では人の心は動かないからです。求人票に並ぶ数字や条件は、入社後の「働くリアル」を伝えられません。だからこそ、物語の力で「この会社で働く自分」を想像させ、ミスマッチの芽を入社前に摘む。映画制作で培う脚本力・演出力・プロデュース力は、そのまま採用ブランディングの武器になります。

### 5月～6月は、新卒社員の「五月病離職」が顕在化する時期。

しかし、離職を防ぐためのテコ入れは、退職者が出てからでは遅い。次年度の採用計画を根本から見直し、「伝え方」そのものを再設計する必要があります。オールインは、その再設計を「経営戦略レベルのコンサルティング」と「クリエイティブ」の両輪で実現する、日本でも極めてユニークなポジションのHR企業です。

#### 取材・素材提供のご案内

- ◆ 500社超の採用失敗パターンと改善事例(匿名化提供可)
- ◆ ゾンビ・ラップ広告など制作事例の裏話と成果データ
- ◆ 映画『Sh\*t Job』制作プロセスと国際展開の詳細
- ◆ 代表・チームの取材写真・オフィス・制作現場の映像素材



#### 前田 優一 | Yuichi Maeda 代表取締役 / 映画プロデューサー

リクルートの広告代理店にて部門賞を総ナメにした実績を持ち、23歳でオールイン株式会社を創業。通信・不動産・人材広告と異業種を横断した営業キャリアを経て、「企業の課題に物語で応える」を信条にHR戦略コンサルティング事業を構築。2022年には和製ホラー映画『白く濁る家』にプロデューサーとして参画、2026年より映画事業を本格始動。「1企業1映画」という業界初の構想を掲げる。

info@allhero.co.jp

オールイン株式会社 / 広報担当  
TEL: 03-6427-2417